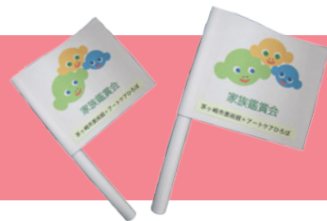


## 2014 秋の教育普及プログラム 0歳からの家族鑑賞会 赤ちゃんと「絵の旅へ」の様子



10月18日と21日に「0才からの家族鑑賞会」が、アートケアひろばの会長である富田めぐみさんをお招きして行われました。今回鑑賞したのは企画展「明治を歩く―湘南と武蔵野」。明治期の湘南と武蔵野が描かれた風景画の中を家族と一緒に旅をするように見学をしました。最初の展示室での鑑賞タイムでは、まだ歩けない赤ちゃん達はお母さんに抱っこされながら、また1人で歩ける子は自由に絵を鑑賞しました。今回の展示は主に明治期の風景を描いたの鉛筆画や油絵です。中でも特に子ども達が目をとめた作品のモチーフは、夜空の中に浮かぶ丸いお月様や青空を背景にどっしり座った大仏様など。「『丸い』ものというのは、母親の目やおっぱいをイメージさせるのか乳幼児は大変興味を持ちます」と講師の富田さん。その他には鉛筆だけで描かれたモノトーンの風景画をお気に入りの作品に選んだ子もいました。毎回子ども達が作品を見てどんな反応をしてくれるのかワクワクしますが、何よりお父さんやお母さんが一緒に鑑賞を楽しんだり、また子ども達の様子に喜んだりすることが更に、子ども達の気持ちを盛り上げているようでした。「小さな子どもと絵を鑑賞する時は全ての絵を見せようとは思わないで、子ども達の好きなものを好きだけ見せてあげましょう」と、後半のアトリエでのお話では、そんな親子での鑑賞のコツも伺いました。

(美術館 N. T)

- 実施日 ①平成26年10月18日(土) 14:00～15:00、②10月21日(火) 10:30～11:30
- 講師 富田めぐみ (アートケアひろば会長)
- 対象 ①0歳以上(おもに園児・小学生)とその保護者、②0歳以上(おもに未就園児)とその保護者
- 参加者 ①7組17名、②11組23名

### 1 さあ、出発!



### 2 展示室では…



これ!これが好き!



好きな絵の前でぎゅっとしてくれます

この絵は…



学芸員から絵の解説も



絵をみたら、お絵かき  
したくなっちゃった

### 参加者の感想

これからいろいろな  
作品を見せてどんなものに  
興味があるのかと一緒に感じ  
ていきたいと思いました

まだ赤ちゃんには早いかな  
と思いましたが、他のお子さんが  
発見した絵のおもしろさを含め、  
私自身も子どもの発想力は  
すごいなと思いました

debut~!

0歳にして  
人生初の美術館!



### ● 講師プロフィール

富田めぐみ氏 (とみためぐみ) (アートケアひろば会長)

1992年 東京女子大学心理学科卒。乳児からお年寄りまで幅広い層への表現によるメンタルケアを実践。2003年より芸術による子育てサポート「アートケア・ワーク」を展開。その蓄積から、「乳幼児鑑賞プログラム」を開発し、2012年 茅ヶ崎市美術館にて初めて開催され、各地で注目を集めている。茅ヶ崎市「2歳児子育て教室」、平塚市美術館「赤ちゃんアート」など講座多数。